

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぽんしやだんほうじんほうむらともいばれえだん		
	制作団体名	一般社団法人法村友井バレエ団		
	代表者職・氏名	代表理事 法村牧		団体ウェブサイトURL https://www.homuratomoi.com
	制作団体所在地	〒 543-0052	最寄駅(バス停)	JR寺田町
		大阪市天王寺区大道2-5-9		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	ほうむらともいばれえだん		
	公演団体名	法村友井バレエ団		
	代表者職・氏名	団長 法村牧緒		団体ウェブサイトURL https://www.homuratomoi.com
	公演団体所在地	〒 543-0052	最寄駅(バス停)	JR寺田町
		大阪市天王寺区大道2-5-9		
	制作団体 設立年月	昭和12年4月		
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
		代表理事:法村牧(牧緒)／理事:法村(宮本)東代子、法村圭緒、法村珠里、法村(堤本)麻起子／総務部:森川起美子／会計監査:東耕 功(税理士)		団員構成:団員33名 加入の条件:オーディション又は法村友井バレエ団員の推薦による
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	法村圭緒
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	法村牧
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス homuratomoiballet@outlook.jp		電話番号 0667711803

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>昭和12年(1937年)設立、プロのクラシックバレエ団体として大阪・東京に本拠を置く。1983年、法村牧緒が団長に就任。バレエ団・バレエ学校にヨシア・ワガノワメソッドを定着させ、優秀な指導陣を擁し、多くの舞踊手を輩出し、日本有数のバレエ団に発展。バレエ団は、自主公演は勿論のこと、(社)日本バレエ協会公演、会館主催公演、親子劇場等の舞台に出演し、又、海外のスター級アーティストをゲストとして日本に招き、国際交流にも務めている。平成27年3月、組織を一般社団法人へ変更</p> <p>*受賞歴 * 昭和29年度大阪芸術賞 昭和34年度芸術祭奨励賞(文化庁)、芸術祭奨励賞(大阪) 昭和35年度芸術祭奨励賞(文化庁) 昭和36年度府民劇場奨励賞 昭和44年度府民劇場奨励賞 昭和45年度大阪文化祭賞 昭和50年度大阪文化祭賞 昭和62年度府民劇場賞、大阪文化祭賞 昭和63年度府知事賞 平成2年度 芸術祭賞(文化庁)「エスマラルダ」平成15年度芸術祭大賞(文化庁)「バヤデルカ」平成16年度大阪文化祭奨励賞「ロメオとジュリエット」平成18年度芸術祭大賞(文化庁)「アンナ・カレーニナ」</p>
	学校等における公演実績	淀の水高校(1998年)、追手門学院小学校(1998年)、狭山高校(1998年)、伊丹高校(1998年)、佐野高校(2000年)、樟蔭高校(1998年、2001年)、上宮太子高校(2003年)、平成19年度～21年度「本物の舞台芸術体験事業」(2007年、2008年、2009年)、平成22年度、23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成26年度、27年度、28年度、平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」、令和2年度、令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」、令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」(巡回公演)、令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業」(巡回公演)、令和6年度「舞台芸術等総合支援事業」(学校巡回公演)、令和7年度「舞台芸術等総合支援事業」(学校巡回公演)
	特別支援学校等における公演実績	平成19年度「本物の舞台芸術体験」香川県立聾学校／「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成22年度・京都市立吳竹総合支援学校／平成24年度・鹿児島県立鹿児島聾学校／平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」大阪市立光陽特別支援学校／令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」香川県立聾学校

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/iM3L2mJxYhU	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	PW:

別添

なし

【公演団体名

法村友井バレエ団

】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
		小学生(高学年)	○	中学生	○
	企画名	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演			
	企画のねらい	本企画を通して、学生の皆様に舞台芸能文化のすばらしさを知って頂き、体験をしていただくことで豊かな心や想像力を養う。また踊りのみならず、衣裳のデザインや舞台製作現場など、あらゆる角度から見ることによって、職業に対する興味を深めてほしいという狙いがある。			
	演目概要・演目選択理由	<p>●バレエのレッスンには多くのダンス(舞踊)の基礎となる要素が詰まっています。第一部では、「バレエを学び体験しよう」と題して、バレエの基本にあたるレッスンやマームを紹介し生徒さんにも体験して頂きます。そして、バレエの見所が分かりやすい小品(4作予定)を紹介し、そこでは生徒さんを交えワークショップで学んだ小品の実演も行います。</p> <p>●第二部では、「くるみ割り人形」スペシャル(クララの夢)公演と題して、チャイコフスキーの代表的なバレエ作品「くるみ割り人形」の公演を行います。プロバレエ団の公演を凝縮してお届けします。</p>			
	児童・生徒の参加または体験の形態	プログラム第一部、「バレエを学び体験しよう」の中で、ワークショップを受講されたメンバーの中から代表者(マームで男女各4名ほど、小品で男女各4名予定)の生徒に、バレエのマーム表現、小品演目の中で、共演参加していただきます。参加者には、舞台メイクを施し舞台衣裳を着用して頂き舞台表現をリアルに体験して発表していただきます。 なお、児童・生徒の共演、参加は第一部だけに集約し、第二部は児童・生徒全員がプロ公演の作品鑑賞に集中していただきます。			
	児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人數目安	16人～20人
				鑑賞人數目安	概ね300人(学校の規模により変化)
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>第一部 ●「バレエを学んで体験しよう」(約45分) バレエレッスン、バレエ小品紹介、プロのダンサーと踊る生徒参加作品、作品のマームを学ぶ</p> <p>第二部 ●「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 (約45分) 作曲:チャイコフスキー、原振付:L.イワノフ/改訂振付:法村圭緒</p>			
	出演時間	90	分		
	出演者	<p>【法村友井バレエ団】辰巳紗代/佐野裕子/坂田麻由美/中内綾美/井上麻緒/神木遙/南野衣緒梨/椿原(綿谷)せいいか/馬野瑞季/野舞翔/佐野光里/荻野(安芸)あゆ子/高橋由芽/大前結希歩/横畠摩実/今村泰典/奥田慎也/今井大輔/池田健人/大西慎哉 【外部出演委託(予定)】上野萌華/木村朱里/立田愛実/田中亜梨沙/八田湖乃晏/牧野カレン/宮崎かのん/中山大舞/松尾健太郎</p>			
	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>メインキャスト(第2部くるみ割り人形) クララ:神木遙／佐野光里 王子:今井大輔／大西慎哉 金平糖の精:神木遙／荻野あゆ子 ネズミの王様:今村泰典 ドロッセルマイヤー:奥田慎也 芸術監督・演出・振付:法村圭緒(一般社団法人法村友井バレエ団理事) 監修:法村牧緒(法村牧・一般社団法人法村友井バレエ団代表理事) 舞台監督:田中一浩(有限会社ウォーターマインド)</p>			
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 29 名 スタッフ: 21 名 合 計: 50 名	運搬	積載量: 3 t 車 長: 4.7 m 台 数: 2 台	

本公司 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度			
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出			
	8:00	8時～10時		13時45分～15時30分	15分	15時40分～17時15分	17時30分			
	※本公司演時間の目安は、概ね2限間分程度です。									
本公司 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月			
	10日		7日		0日		0日			
	10月		11月		12月		1月			
	0日		15日		15日		10日			
※平日の実施可能日数を記載ください。				計		57日				
本公司 ・ワークショ ップの内 容										
	搬入トラック（写真は4tロング）			電源車、体育館に横付け駐車			搬入機材を整理してから仕込み			
										
	公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)				生徒参加作品の様子（小学生）		生徒参加作品の様子（中学生）			
					客席後方に設置する照明やぐら					
			客席の様子（コロナ前）基本的に足元が見やすくなるようにフロアに座って観賞して頂きます。より見やすくする工夫として後方に数							
			第二部の舞台装置 体育館の舞台は緞帳を閉めてその中はバックヤード（早替えのスペース）として使用します。演技舞台はフロア一面にバレエマットを敷きます。両サイドは体育館の幅まで袖パネルを立てます。（おおよそフロアの1/3の利用になります／舞台サイズ：奥行き11m、幅17m以上（内間口12m）							
	※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し									
	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否				該当なし	該当コンテンツ名				
著作権、上演権等 の許諾状況	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況					

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 法村友井バレエ団】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	バレエを見たことのない生徒や先生が多くいることから、まずは舞台文化に興味を持つてもらうことを目標とする。バレエ公演を前提にワークショップを開催することにより、バレエの成り立ちや歴史、技法や名称など、より専門的な知識を深めてもらうと同時に、一人でも多くの生徒に舞台文化に対する興味を持っていたらくことを目的とする。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	100人
	解説指導者1名と指導アシスタント5名の6名編成で、会場には、約10m×5mのスペースにバレエマットを敷き、レッスンの為のバーを設置する。ワークショップでの参加者は概ね100名までとしている(多すぎると集中力や指導管理がおろそかになる)その参加者の中から公演の時に参加(出演)して頂く人数は16~20名程(マイム演技男女各4~8名、バレエ出演者男女各4名)を選んで頂く事を前提として実施する。 ワークショップ会場としては主に体育館等のダンスが出来るスペースで、運動が出来る服装を着用。公演への参加が前提で、集中力の問題から小学3年生以上を対象とする。 前半の時間は、バレエ作品の鑑賞のポイントや、バレエの基本姿勢や基本的なマイムなどを体験しながら実施する。また、実際にバレエで使用する衣裳や靴などを用意、休憩時間に実際に触れてもらうことで興味を持ってもらう。後半は、公演で参加していただく作品の練習をする。(参加学年や技量により演目を調整) グループに分かれてそれぞれに指導者が振付を行う。最後に質問コーナーなどを設けて親睦をはかる。			
	ワークショップ実施形態及び内容			
	その他ワークショップに関する特記事項等	生徒には、バレエのレッスンバーの代わりに背もたれのある椅子などをを利用して、バーレッスンの体験や回転の技(ピルエット)の体験をしてもらう。また、会場にバレエの衣裳やトウシューズ等を展示して興味を深めてもらう。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添 なし

【公演団体名 法村友井バレエ団】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかつた。	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。		
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。					
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。					
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	15 A以上			
	舞台設置面積	間口 高さ	18 m 4 m	奥行	12 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可		
	搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m		
	遮光の要否	7割程度必要	緞帳の要否	必ず必要			
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	15 m以内			
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	2 台			
	搬入車両の大きさ	車幅	2.2 m	車長	7.17 m		
	備考	中型トラック(7.17×2.2×3.25)2台・電源車(5.25×1.94×2.2)1台(電源車30Kw)					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

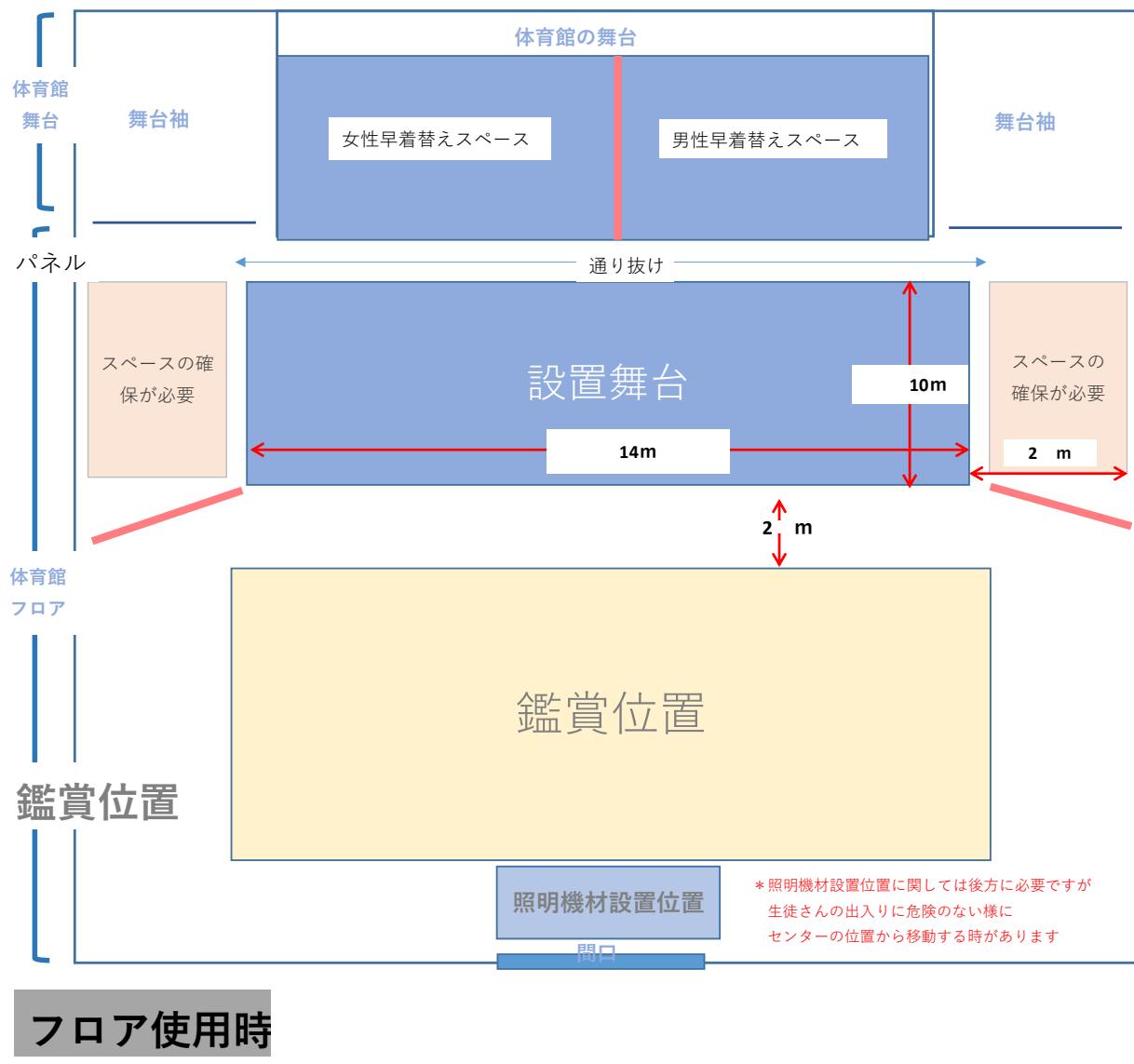
学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否				
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)				

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。			
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
	個別ヒアリング事項	
	1	
	2	
3		

(任意) 会場条件について最低限必ず条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

法村友井バレエ団

】

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】
		<p>まずは一人でも多くの生徒様や先生方に、バレエを通じて芸術文化に興味を持っていただくことを目標とする。特に、バレエなどの舞台を観る機会が少ない地域の子供たちに対しては、本事業を通じて他の多くの分野にも興味を広げてもらい、劇場に足を運んでいただくことで舞台文化の衰退に歯止めがかかることを期待したい。また、「バレエ」という舞台一つにしても、そこにはダンサー以外にも多くの人の力が必要であることをワークショップの段階で学んでいただき、舞台設営や装飾、音響設備、照明や衣裳製作、メイクアップアーティストなど、あらゆる職業の存在を知っていたくことで、総合芸術と称される「バレエ」のすばらしさを認識してもらい、将来の選択肢の一つとして舞台関係の人材を獲得することにつながると期待したい。</p>
	上記の実現に向けて、実施の工夫	【上記の実現に向けて、実施の工夫】
		<p>バレエになじみのない生徒が多くいることから、ワークショップの段階からできるだけわかりやすくバレエについての説明を行う。実際にバレエダンサーによる模範レッスンを見ていただき、ワークショップでは生徒たちに簡単なバレエの動き方を体験してもらう。また、バレエの言葉ともいえる「マイム」も紹介し体験していただくことで、セリフのないバレエをより深く楽しんでいただけるようになると考える。ワークショップにおいて公演に参加する生徒にはバレエとマイムに分かれて振付をし、公演までに復習ができるよう、模範動画も配布している。公演は2部構成で行い、第1部で生徒参加作品を設定、第2部では生徒は参加させず全員でバレエ作品を観ていただくことで、芸術鑑賞としての位置づけを明確にしている。公演当日はできるだけ多くの生徒や先生、地域の方に観ていただきたいため、学校様と協議をする。また、学校様にお願いして地域のメディアなどに本事業を紹介していただくことで、学校としての姿勢や本事業の周知につながるではないかと期待している。</p>
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】
<p>採択決定後に速やかに電話で連絡をとり、以後の詳細な連絡は主にメールにて行う。状況によっては直接電話でやりとりをする。ワークショップより前の段階で、今後の運営が円滑に行えるよう、学校様にアンケートによる調査を行っている。(およそ30項目)これは、お互いの状況や学校の方針、性格を知る上において重要と考える。</p>		【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】
<p>生徒の中には支援が必要であったり、身体の不自由な生徒がいたとしても排除はせず、先生との相談の上可能な限り体験をさせ、公演に参加したい生徒がいれば躊躇なく参加させる。先生が付き添う形であっても同様の体験を用意している。</p>		【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】
<p>公演後は学校にお願いをして、鑑賞していただいた生徒の皆さんに感想を書いてもらう。</p>		